

くらしに役立つお金と生活の知恵を学ぶ

くらし塾 さんゆう塾

vol.34

2015秋号



●巻頭インタビュー

人間とは何かを考え抜く

工学博士 石黒 浩

●連載エッセイ 経済学者がくらしをあばく

オークション

値付けの魔術

東京大学大学院経済学研究科教授 松島 斉

●そこが知りたい! くらしの金融知識

自らの介護・認知症に備える

介護にかかる費用制度を知っておこう

●金融教育の現場レポート

『商業科は金融教育の宝庫』

長期型インターンシップで生きる力を養う

知るぽると

金融広報中央委員会

人間とは何かを 考え抜く



巻頭
インタビュー

石黒浩さん

工学博士

●巻頭インタビュー	2
●家計管理・生活設計のツボ	6
〈第6回〉便利なクレジットカード、正しく使えていますか？	
●まんが わたしはダマサレナイ!!	8
個人情報削除します詐欺	
●連載エッセイ	11
—経済学者がくらしをあばく—	
〈第2回〉オークション 値付けの魔術	
●そこが知りたい! くらしの金融知識	14
自らの介護認知症に備える ～介護にかかる費用・制度を知っておこう～	
●金融教育の輪	18
金融庁	
●金融広報中央委員会会長 就任挨拶	19
「金言」の重み	
●なるほど知るぽると	20
新パンフレット 「大学生のための 人生と お金の知恵」のご紹介〈後編〉	
●金融教育の現場レポート	22
『商業科は金融教育の宝庫』 ～長期型インターンシップで生きる力を養う～	
●金融広報アドバイザーの誌上セミナー	26
小学生向け『旅行プランゲーム』 で健全な金銭感覚を養う』	
●金融・経済 おもしろ豆知識	28
〈第6回〉「論語」	
●おたよりコーナー	29
●都道府県金融広報委員会一覧	30
●まなびや訪問	31
香川県 土庄町立豊島中学校	

10年ほど前、自分そっくりのロボットを創り、世界を驚かせた石黒浩・大阪大学教授。

今ではその「コピーロボット」「ジェミニノイドH」が石黒さんに代わって海外で講演を行うなど、活躍はますます「進化」を遂げています。2007年には、英国コンサルティング会社(Synetics社)の調査において「世界の100人の生きている天才」に選出されるなど世界のトップを走るロボット工学者。その素顔と研究にかける情熱の裏にある人生哲学をうかがいました。

絵が好き、創造力を育んだ少年時代

石黒さんの研究テーマは、マンガやアニメで活躍する擬人化したロボット、あるいは工場などで働く産業用ロボットではなく、人間と見まがう容姿をしたアンドロイド(人間酷似型ロボット)です。その研究の目的は、ズバリ、「人間を知るため」ロボットを通じて未来の人間社会を支えるシステムを探究し続ける石黒さんの発想の原点はどこにあるのでしょうか。

両親・親戚の多くが先生という中で育ったという石黒さん。いかにも優等生を育む環境だったのかと尋ねると、意外にも「勉強をした記憶はあまりない」との答えが返ってきました。

「小学校低学年では、まず先生の言うことをきかない子どもでした。授業参観のときでさえ授業を無視して一人で絵を描いていて親に嘆かれたほど。絵が大好きでしたね」と話すように、石黒さんには幼少期から芸術的な感性が芽生えていたようです。「3・4年生になると、今度は日記を書くことに熱中するようになりました。目についたもの、気

がついたことを片っ端から書き記すから、3日でノート1冊がいっぱいになり、2年間でダンボール2つ分になっていました。そのうち、文章を書くのが楽しくなって、高学年のころには、先生の話をちゃんと聞くまともな子どもになっていたと思います」。

滋賀県にある故郷の豊かな自然に囲まれ、「近所の山では野生の松茸、しめじが、川ではアユが採れて、ご飯のおかずが一通り揃うような環境でした。カブトムシやクワガタも捕り放題でしたね」と思い出すのは野山を駆け回ったことばかりだそうです。

その後、地元の高校に進み、好きな絵を学ぶために美大へ行くことも考えたものの、当時普及しはじめていたパソコンにも興味があがり、工学部への進学を決めました。

「本当の最先端の研究をするとき、私たちは『何もないところから何かを創り出す』という『発見』が必要で、いくら論理を突き詰めても『何か』は出てこない。そこは芸術的なセンス、ひらめきなんです。そういう意味では、私は子どものころから美術が好きだったことで、研究者としても役立つ資質を磨くことができたと思います」。

互いに助け合う地域文化に 影響を受けた金銭感覚

石黒さんは子どものころ、「おこづかい」をもらわない生活をしていました。

「田舎だから、雑貨屋さんが1つ、八百屋さんが1つ、本屋さんが1つという感じ。お店の人も親もみんな知り合いで『どのうちの子か』が分かっているから、『ツケ(後払い)』がきく』という文化が残る地域で育ちました。だから、現金を持っていなくても買い物ができるけれど、何を買ったかは

親に筒抜け、という生活でした」。

もともと手先が器用だったことから、材料と道具さえ揃えば、遊びに必要なものはたいてい作れたと言います。

「おもちゃが欲しいとかではなく、『自分で作るから、材料を手に入れたい』ということなので親もダメだとは言いきれません。どうしても欲しくて親にお願いした記憶があるのは、『電子ブロック』(1976年に発売されブームになった電気実験キット)と『コンピュータ』ですね。これはさすがにその辺の材料では作れません」。

そんな少年時代の地域のコミュニティは、家に鍵をかける習慣もなく、個々の家庭同士で足りない物を融通し合って互いに助け合う生活が成り立っていたと言います。その環境が、石黒さんのお金に対する考え方にも影響していると言います。

「例えば、世の中にお金が生まれた背景には、人とコミュニケーションをとる目的と、お互いの価値を認め合うプロセスがあったはずなんです。しかし今は、お金で物をやりとりするだけになっているのが残念です。いつそ貨幣制度がなくなれば、人々は『人は互いに助け合って生きている』という本来の姿や、『人はお金のために働くのではない』ということとを思い出すのにと想像したりもします。お金をなくすわけにはいかないけれど、そうした人間社会の原点に立ち返って考えることが大切です。」と石黒さんは感じているそうです。

研究とお金についても考え方は明確です。「もちろん、研究には多額の費用がかかります。ただ、私には技術開発と実用性の両方を満たせる研究構想が豊富にあるし、これまでの実験をどんな目的で行ってきたのかも明確に説明できるので、研究

費の獲得には自信があります。また、自身で経営しているベンチャー企業で研究資金を稼ぐ手もあります。ただ、この企業は、それ以上に人やアイデアが集まる仕組みづくりという面が大きいですね」。

世界最先端の研究を、話題性も含め、世の中にどのように役立つか分かりやすく説明し、目標を設定し、成果につなげていく。そんな「石黒流」に大きな夢と期待が寄せられ、資金だけでなく人材もアイデアも集まってくると言えそうです。

「人間を知る」ために 進化するアンドロイド

石黒さんの代表的な研究成果として、3つのアンドロイドが挙げられます。

1つが2006年に1号機が開発された石黒さん自身のコピーロボットである「ジェミニノイドHI」。次に10年に発表された女性型遠隔操作型アンドロイド「ジェミニノイドF」。そして15年に登場したのが、究極の美形の容姿を持つ自律対話型アンドロイド「ERICA（エリカ）」。

ほかにも、人気タレントのマツコ・デラックスさんのアンドロイドや大阪の百貨店で販売員として親しまれているアンドロイド・ミナミちゃんなど、さまざまなアンドロイドが活躍しています。

ただ、石黒さんは「私はロボットを作りたいわけではないのです。自分や人間に興味があるから、人間を知るために、アンドロイドを追究している



のです」と力説します。

例えば、自分そっくりのアンドロイドを製作した理由は、「人の存在感とはいったい何であるのか、また人の存在感は遠隔地へ伝達することができるか」といった疑問を探索するための実験だと言います。「ジェミニノイド」にはマイクとスピーカー、通信機能が内蔵され、遠隔操作が可能です。この機能を活用し、国内外のいろいろな場所で、石黒さんのアンドロイドによる講演会が行われています。まさに、人の存在感を本人がいらない場所に伝達できることを証明した成功例と言えるでしょう。

また、最新型の「ERICA」は、遠隔操作型ではなく、人間との自然な対話が可能な自律対話

型として注目されています。顔は美人の特徴をコンピュータグラフィックスで合成した「完璧」な造作。ふるまいは音声認識、音声合成、動作認識、動作生成などにおける最先端の技術を結集して作られているのが特徴です。実在の人間をモデルとしない「ERICA」の開発は、姿も声も合成技術の粋を集めて製作されたアンドロイドが、人間にどれだけ親しまれるかを実験するという、次なるチャレンジなのです。

「人間の脳は人間を認識する能力が一番高く、ロボットに対する反応は人型かそれ以外かで大きく異なります。人間にとって一番使いやすいのは人間らしいロボットなんです。つまり、人間にとってもっとも親しみやすいインターフェイス（姿形）は人間なんですよ」。

「人間は道具を使い、技術をもって多種多様なことができるようになり、人間の限界を克服してきました。技術は世の中を便利にしましたが、人間の能力を機械に置き換えていくと最後には何が残るのか。人間の能力はどこまで拡張できるのか。人間の可能性を見続けながら、最後に人間とは何か？自分とは何か？を見定めることが、私の研究の最終的な目標なのです」。

「私は自身のアンドロイドが遠隔操作中に誰かに触れられたりすると、自分のことのようにドキドキします。不意に頬をつつかれたりすると不快な気持ちにもなる。なんだか境界が曖昧になり、アンドロイドの体験に同化する感覚を持ちます。自分の体のように感じられてくるのです。これは、モデルがいる他のアンドロイドの場合でも、モデルの人からは同じ感想が聞かれました。同様に、脊髄損傷などで体を動かせない人が、脳波でアンドロイドを操

作すると、体が動いているような満足感が得られるという実験データもあります。まさに、『自分』の定義を考えさせられる実験と言えます」。

そして、石黒さんは、「アンドロイドを実体験する感覚をもっと世間一般に広げていきたい」と話します。

テレビ番組で話題となったタレント、マッコ・デラックスさんそっくりの「マッコロイド」。

マッコさん自身、最初は自分そっくりのアンドロイドに「あまりいい気分のものではない」としながらも、何度か触れ合ううちに自然に会話を楽しむ（遠隔操作で別の人間が対話）ようになっていきます。今では完全に独立した人格として認識し、「分身ではないが仕事仲間、妹のような存在」という趣旨の発言もしています。番組の制作現場でも、スタッフたちは皆、ほとんど一人の人間として接しているそうです。

アンドロイドと人間が実際に接している様子をテレビなどを通じて多くの人に見てもらうことで、アンドロイドという存在への関心や理解が高まり人間社会に受け入れられることにつながっていききたいとの思いが、メディア戦略にも込められているのです。

真似は要らない、自分で考える

石黒さんは自身の研究者人生の岐路を、大学院生のころだったと言います。

「大阪大学の大学院で博士号を取る際、死に物狂いで研究テーマを考えました。人が発想をするときにはひらめきも必要ですが、それとともに『論理とイマジネーションを完全につなぐトレーニング』が重要です。そのために1年ぐらいい、『答えが見えなかったら死ぬ』というくらいの強い気持ちで

とにかく考え続けたんです。そこまで心理的にも自分を徹底的に追い込みました。私は幼いころから思い込みが激しい方だったので、自己暗示が得意という意味で、ここでは私の強みとなりました」。

この徹底的に考え抜く日々を重ねるうち、石黒さんは「自分が考えていたバラバラなものが、あるときにポンと3つぐらい同時につながる直感が働くようになった」と表現しています。

「うまくは説明できないのですが、右脳と左脳がつながった感じがする瞬間があったのです。それから、研究テーマやアイデアは枯渇したことがありません。さらにその後は、一見嫌なことでも『これは将来のためになる』と確信することでストレスから解放されるようになりました。だからもう私にはストレスが一切ありませんね」と言い切ります。まさにこの博士課程での1年ほどの「考え続ける」体験が、天才・石黒教授の誕生の布石となり、今日につながっているのかもしれない。

なかなか普通には真似できない石黒さんの方法ですが、発想力を鍛えるためのアドバイスをうかがうと、やはり「考え抜くこと」の大切さを思い出話とともに聞かせてくれました。小学生のころ先生から「人の気持ちも考えろ」と言われ、素直によく考えてみた石黒少年は「人」も「気持ち」も「考える」ことも分らないことだらけなことに気づき、愕然としたそうです。

石黒教授(上)とジェミノイドHI-4



●石黒浩 (いしぐろ・ひろし)

1963年、滋賀県生まれ。大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻教授、JST ERATO 石黒共生HRIプロジェクト研究総括、ATR石黒浩特別研究所所長(客員)およびATRフェロー。著書に『ロボットとは何か-人の心を映す鏡』(講談社現代新書)、『どうすれば「人」を創れるか-アンドロイドになった私』(新潮社)などがある。

な研究、独創的な発想は学校や大人から教わったことを鵜呑みにしては生まれません。人のやっていることを真似しても意味はなく、人のやっていないことをやってこそ成功がある。まずは、日常の中にある素朴な疑問(基本問題)を分かったつもりにならずに自分の頭でとことん考え抜く訓練をしてみてください」。

人を知るため、自分を知るために、数々のアンドロイドを創造し続けている天才ロボット工学者・石黒浩さん。

「究極のところ、人間は人間にしか興味がないんですよ」。そう繰り返す石黒さんの研究は、将来人の姿形だけでなく、「気持ち」や「思い」までアンドロイドに吹き込んでいくことができるのでしょうか? その時、人とロボットの境界線はどうなるのでしょうか? 未来の世界の姿を切り拓く研究からどんな成果が飛び出すのか、私たちも目が離せません。




・ジェミノイドHI-4は、大阪大学により開発されたものです。・ジェミノイドFは、大阪大学と国際電気通信基礎技術研究所(ATR)石黒浩特別研究所により共同開発されたものです。・ERICAは、ERATO石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクトにより開発されたものです。

家計管理・生活設計のツボ

第6回

便利なクレジットカード、正しく使えていますか？

最近では、多彩な機能が追加された便利なクレジットカードが続々登場しています。でも、カードでのショッピングは基本的に「借金をすること」。その認識をしっかりと持ち、どうすれば、もっとクレジットカードと上手に付き合えるのかを考えてみましょう。

-  **ツボ1** 便利で気軽なカード払いは、支払い(決済)完了まで「借金」を背負うことと心得て
-  **ツボ2** 未決済残高や利息、手数料なども考慮して、支払い方法は計画的に選択を
-  **ツボ3** クレジットは社会的信用。マイルールを設けてカードと賢く付き合おう

クレジットカードが後払い可能なワケは…？

「クレジットカードを1枚も持っていない」という人は、今やかなりの少数派だと思います。むしろ、最近では複数のカードを用途別に使い分けている人の方が多いかもしれません。

利用金額に応じてポイントが貯まったり、飲食店や交通機関でプリペイド機能が利用できるなど、近ごろは、「クレジットカード」以外のさまざまな機能が、クレジットカードに付与されています。複数のカードを組み合わせれば、じゃらじゃらと小銭を持つわずらわしさから解放され、買い物も移動もスマートにできる便利な時代になりました。けれど、便利だからこそ気を付けてほしいポイントもあります。

まず、クレジットカードを利用することは、「借金をすること」と同義だということです。お店でカードを差し出せば、欲しい品物やサービスが手軽に手に入れられるため、なかなか自覚を持ちにくいのですが、10万円の品物をカードで入手すれば、支払い(決済)が完了するまで10万円の借金をしていることになるのです。

そもそも、このような後払いの

システムが成立するのは、カード名義人(持ち主)の「必ず払う」という約束(契約)に基づいて、クレジットカード会社が立て替え払いをしてくれているから。カードを作る際に、信用調査が行われるのはそのためです。システムを成立させているのは、一人ひとりの「信用」なのです。

知っておきたい！カードの支払い方法それぞれの特徴

「借りたお金は、後で必ず返す」。当たり前のことですが、この「当たり前」を、軽く見ていると、支払い困難に陥ってしまうこともあります。カード払いをする際は、必ず、ムリのない返済計画を立ててからにしましょう。

クレジットカードにはいくつかの支払い方法があり、カード利用の際に選択できます。

●**翌月一括払い**…商品などを購入した次の月に、一括して代金を支払う方法です。一般に金利や手数料はかかりません。

●**ボーナス一括払い**…商品などを購入した次のボーナス時期(夏は7月か8月、冬は12月か1月)に一括して代金を支払う方法。少し値の張る買い物をするときを選ぶ人が多いようです。こち

らも、一般に金利や手数料はかかりません。

●**分割払い**…支払回数を決めて支払っていく方法です。3回払い以上から金利や手数料がかかってくるカードが多いようです。カードによってはボーナス払いが併用できるものも。

●**リボルビング払い**…月々の支払い金額を一定額、または未決済残高に対する一定率に決められる支払い方法です。月々5千円と決めておけば、3万円の買い物をしても10万円の買い物をしても、月々の支払い金額は5千円になります。

自分の懐事情や先々の収入予定に合わせて支払い方法を選ぶのは、クレジットカードの便利な点の一つです。けれど、先々に支払わないといけない額をきちんと把握しておかないと、支払明細書が届いてビックリ！といったことにもなりかねません。とくに、リボルビング払いは、月々の支払い金額を少額に抑えることができるため、支払い余力があるかのように錯覚し、無計画な買い物をしてしまう可能性があります。また、分割払いより金利が高いために、長期間にわたって多額の金利を払い続けることになりかねません。

■身の回りにある“カード”の種類

	プリペイドカード	デビットカード	クレジットカード	ポイントカード
代金の支払い方法	前払い	即時払い	後払い	—
カードの入手方法	店舗などでカードを購入する	金融機関に預金口座を設ける	申込後、カード会社の審査を受け、発行される	店舗などで発行 (クレジットカードにポイント機能が付帯しているものも)
利用金額	あらかじめ購入した金額の範囲内	預金口座の残高の範囲内	利用限度額の範囲内	貯まっているポイントの範囲内 (現金還元率はカードによって異なる)
使い方	カードが利用できる店舗やサービスに対して提示 (カードにより異なる)	端末機に暗証番号を入力	端末機に暗証番号を入力、または利用伝票にサイン。ネット利用の場合はカード番号と有効期限、パスワードやセキュリティコードなどを入力	カードによって異なる
利用権限	誰でも利用可能	口座名義人のみ (年齢制限なし)	カード名義人のみ (一般的に18歳以上)	誰でも利用可能 (クレジットカードに機能が付帯しているもの以外)

【電子マネー】
カードに金額をチャージして利用する「電子マネー」は、現金、あるいは預金口座の残高の範囲内でチャージできるものと、クレジットカードでチャージできるものがあります。前者は「前払い」、後者は「後払い」になります。一定の金額まで残高が減ると自動的にチャージされるタイプの電子マネーをクレジットカード払いで利用する場合、知らぬ間に負債が増える可能性があるため、注意が必要です。

クレジットカードのトラブルを避けるには？

クレジットカードのトラブルで、筆頭にあげられるのが「カードの盗難・紛失」です。うっかり無くしてしまったというだけでなく、盗難の被害も増加傾向にあります。クレジットカードの紛失で何より怖いのが、不正利用です。「家に帰ってもう一度探そう」などと悠長なことを言っている間に、第三者に限度額いっぱいまでカードを使われてしまうかもしれません。保険でまかなわれるから大丈夫とタカをくくっていると、保管・管

理が不十分だったり、類推しやすい暗証番号で不正利用された場合などは救済されないケースがあります。「無い！」と思ったら、すぐにカード会社に電話をし、使用停止の手続きをしてください。一方、カードで購入した商品に欠陥があった、商品が届かないといったトラブルが起こった際は、カード会社に申し出て、支払いを拒否する権利があります。この権利を行使するには一定の条件があるので、約款などを確認してみましょう。ただし、「3万円だと思って買ったのに、明細を見たら8万円だった

た」といったケースには対応してもらえないことが多いので注意。自分が値段を見誤っていたにしろ、店員がレジを打ち間違えたにしろ、サインをした時点で契約は成立してしまいます。このようなトラブルにならないよう、サインや暗証番号入力をする前にレシートをしっかりと確認するクセをつけておくことが大切です。

また、最近では、クレジットカードに多くの機能が付帯しているからこそ発生するトラブルも。

例えば、「海外旅行や自動車などの保険付きカード」。いざ海外で使うと思ったら、年間一定額以上のカード利用がないと保険が有効にならない「利用付帯」だったとか、たしかに保険は適用されたけれど、補償金額が少額過ぎた……といったケースに注意。「付いている」だけで安心するのではなく、「どのようなケースでいくらまで補償されるのか」を事前に確認しておくことが大切です。

クレジットカードと賢く付き合うために

クレジットカードを利用する際の注意点を改めて振り返ってみましたが、クレジットカードを使えば支払いは簡単だし、ポイントも貯まっておトクだし、社会的な信

用の証にもなるわけですから、現代社会において、「カードを一切使わない」という選択をすることはなかなか難しいと思います。

ならば、カードの利用は収入の1割までにするとか、支払いは一括払いのみにする、あるいはキャッシング枠は0円で設定するといった具合に、クレジットカードと賢く付き合うための自分なりのルールを決めてはいかがでしょうか。

最近では、電子マネー機能が付帯したクレジットカードや一定額以下の利用はサイン不要のカードなども登場していますが、ますます手軽になった分、「見えないお金」への意識は希薄になりがちです。「ついついお金を使いすぎてしまう」タイプの方は、知らぬ間に負債が膨らむ事態を避けるために、こうした機能は利用しないといったルールを作ること一案でしょう。

また、支払明細の確認は、ウェブ方式とはせず、あえてペーパー方式としたうえで、明細書が届いたときに利用明細とレシートを照合し、無駄な買い物をしていないかという点も含めて確認されてはいかがでしょうか。ほんの少しの心がけ次第で、クレジットカードとの関係は、もっと安心で快適なものになっていくと思います。

わたしは ダマサレナイ!!

第30話 個人情報削除します詐欺

●監修

中谷 薫

(なかに・かおる)

横浜市消費生活総合センター／
消費生活専門相談員

このコーナーで紹介するまんがは、実際に起きた事件をもとに、その「だましのシーン」を再現したものです。
なぜだまされてしまうのか？ ここで再現する巧みな策略に、その秘密が隠されています。
「私だけは大丈夫！」なんて甘く考えてはいませんか？ 実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。



公的機関を騙って個人情報削除を持ちかける詐欺が急増中！

日本年金機構などの個人情報の流出問題が新聞報道され、世間では個人情報流出に対する不安がこれまで以上に高まっています。こうしたなか、「あなたの個人情報が出ています」「あなたの情報が業者間に流れている」などと虚偽の話をして不安を煽り、公的機関を騙って、個人情報の削除を持ちかける詐欺が急増しています。被害者の7割弱が70歳以上の高齢者、約8割が女性になっています。

ポイント1

実在する公的機関の名前を使って電話をかけ、信用させる

この詐欺は悪質業者が全国の消費生活センターや国民生活センターなどの公的機関を装い電話をかけてくることから始まります。実在する公的機関の名前を使うことにより、まず高齢者を信用させるのです。そして、「最近不審な電話がかかってきませんか」「最近不審な電話がかかってきませんか」などと親切そうに尋ねます。高齢者が「そういえば…最近、なぜ私の名前を知っているのだろ」と思う不審な電話がかかってくる」と曰う不安を口にする、悪質業者はすかさず「実はあなたの個人情報が漏れているようなのです」と高齢者を驚かせます。

ポイント2

巧みな話術で個人情報の削除を持ちかける

「個人情報が出ています」という言葉に高齢者が慌てると、悪質業者はすかさず「こちらで削除しましょうか」と漏れている個人情報の削除を持ちかけます。実際は公的機関が「個人情報削除してあげる」などと言うことは絶対にはないのですが、高



高齢者は悪質業者の言葉に不安を煽られ、冷静に考えることができず、自分の個人情報に漏れているのは嫌なので、削除を頼んでしまします。

ポイント3

削除を依頼すると、劇場型詐欺はさらに展開していく

いったん削除を依頼してしまうと、ここから第三者を装った人物が複数登場してくる劇場型詐欺はさらに展開していきます。「個人情報削除します」と言った業者はすぐにまた電話をしてきて、「3社に漏れていました。2社は削除できましたが、A社は簡単に削除できない。あなたの名前を削除するには代理人を立てるしかありません。誰かいますか」と聞きます。一人暮らしの高齢者は代理人と言われても、誰も思い浮かべることができず、どうしたらよいかわかりません。すると業者は、「福祉活動をしているNPO法人の代表が無償で代理人になってくれるので、お願いしてはどうか」と提案してきます。高齢者が了承すると、悪質業者はA社に登録されている高齢者の番号なるものを伝え、NPO法人の代表者から電話があったら、この番号を教えるよう指示します。後刻、NPO法人の代表者から電話があり、高齢者は業者に言われたとおり、代表者に登録番号を教えま

ポイント4

共犯、違法、逮捕といった強い言葉で、被害者を恐怖に陥れお金を騙し取る

しかし翌日になると、今度はA社から電話があり、「NPO法人があなたの登録番号を使って高額な福祉用品(例えば「車椅子50台」)を購入した。なぜ自分の番号をほかの人に教えたのか!当局から違法と指摘され、うちの社員が逮捕された。番号を使わせたあなたも共犯だ!保釈金はあなたが払うように!」と、矢継ぎ早にまくした



この物語はフィクションです

てられ、怯えてしまいます。実際は登録番号自体、根拠のないものです。ましてやその番号で商品の購入などできるはずもないのですが、番号を教えたのは自分であり「共犯」という言葉に自分が悪かったと思い込んでしまい、定期預金や保険を解約して工面したお金を、業者の指示通りに、宅配便で送ってしまうのです。

劇場型詐欺は業者がグルになって作り話の世界に被害者を引きずり込み、冷静な判断ができない状態にさせ、お金を騙し取っていくものです。パターンはいろいろです。

この事例では、その後ヘルパーさんが、掃除中に伝票を発見したことから詐欺に遭ったことが発覚しますが、悪質業者は逃げ足が速く、お金を支払ってしまった後では、解決は大変難しくなります。

高齢者の場合、被害に遭っても誰にも相談できず、被害発覚が遅くなってしまうことが多くなっています。高齢者の被害を防ぐには周囲の見守りが大切です。家族はもちろん、地域コミュニティが協力し、不審なことがあった場合は、できるだけ早く地元消費生活センターに相談しましょう。お金を支払ってしまった場合は、大至急警察に相談してください。

公的機関から個人情報削除してあげる」という電話がかかってきたら詐欺ですので、絶対に相手にせず、すぐに電話を切ってしまうように。

【詳しい情報や相談】

● 国民生活センター報道発表

http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20140730_1.pdf

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20150604_3.html

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20150622_1.html



オークション

値付けの

魔術

松島 齊 (まつしま ひとし)

東京大学大学院経済学研究科教授
経済学者。専門はゲーム理論。1960年東京都生まれ。1983年東京大学経済学部卒。1988年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士。筑波大学社会工学系助教授、東京大学経済学部助教授などを経て、2002年より現職。アメリカ・エコノメトリック・ソサエティー・フェロー。日本経済学会会誌 (Japanese Economic Review) 編集長。

オークションは値付けの魔術。
この時、みんなのニーズや思惑は
白日の下にさらされる。
だから、危険もいっぱいだ。
しかし、こんなオークションと
上手に付き合える社会こそが、
未来ある資本主義国家と
いえないだろうか。
では、はたして日本はどう？

今回はオークション、入札、競売の話。世間はこれらを微妙なニュアンスで使い分けるけれど、経済学者にとっては皆同じ。売りに出された品物をめぐって買い手が競い合う。これだ。築地市場では、競り人が掛け声よろしくマグロを競り上げる。初競でマグロが1億円超などというのがニュースになった。

証券取引所は、新規発行の株、社債、国債を、「封印入札」によって売りさばく。買いたい人は紙に指値と枚数を書いて、厳封して提出し、最後に一斉開封し、決着。

建設工事発注でもオークションは大活躍だ。安くて確実な業者を封印入札で割り出す。そし

て、テレビで見かけるピカソやゴッホの数十億円の美術品取引は、オークションの代名詞だ。

オークションの例は枚挙にいとまがないけれど、私たちの暮らしに入り込んでいる筆頭は、ネットオークションだ。ネット社会では、いつでもお茶の間で、おせんべい片手に、出品買付自由自在なのだ。

私の子どものころの身近なオークションといえば、山田洋次監督「男はつらいよ」で、渥美清扮する寅さんが、質流れを口上よろしく売りさばく「啖呵売（たなかばい）」くらいか。数年前なら知らない日本人などいなかったが、今では講義で寅さんといっても、「もっと分かりやすい例で解説してください」と怒られるのだから始末が悪い。

もっと古い話で、思い出したのは、5、6歳のころにテレビで見た、「大正テレビ寄席」という公開番組。ウクレレ漫談で有名だった「牧伸二」が、腹巻のねじり鉢巻きで「バーゲンだよ」と雄叫びすると、会場の客相手に、ささいな品をめぐって競り上げはじめ、最後には予想外の高価なおまけもついて落札者は大喜び。売り上げは福祉募金へと、まあこんな感じの人氣コーナーだった。これが私の、オークション原体験だ。

話を現代に戻そう。私たちの生活空間に一番近いところで行われている大規模オークションがある。ネットオークション？ いやいや。皆さんに気づかれないように、グーグル、ヤフーと

いった検索エンジンの画面の中で展開されている「検索連動型広告オークション」、それである（なにそれ？）。

皆さんが検索エンジンを利用すると、結果画面のいたるところに表示された広告を目にするだろうが、この裏側では、広告依頼主たちが日々バトルを繰り広げているのだ。

私には、検索するたび、画面から競り人の掛け声が聞こえてくる。広告バナーをクリックすれば、じゃらじゃらとコインの響きが聞こえる。あなたがクリックすると、広告主のサイトが開かれる。そのたび、広告主は一定金額を検索エンジンに支払う仕組みになっている。検索しているあなたが支払うのではないのでご安心を。

検索エンジンの画面はワードごとに異なるし、膨大な数のネットユーザーが検索エンジンを利用しているのだから、一日の総クリック数は半端な数ではない。こうして、「検索連動型広告オークション」は、検索エンジンにとって、とてつもない高収入をはじき出す打ち出の小槌になる。

ワードごとの検索画面のどこに、どんな広告が割り当てられるのかは、すべてオークションまかせ。ワードごとに、広告依頼主がワンクリックにつきいくら支払うかを指値する。指値の一番高い依頼主に、そのワードの検索画面の中で最も目に付きやすいポジションを割り当てる。二番目に高い指値の依頼主には、二番目に目に付きやすいポジション。以下同様に、全ポジションを割り当てる。

広告依頼は、いつでも行うことができる。オークションの「ヴァーチャル会場」には、参入退出が絶え間なく繰り返されていることになる。

そのため、広告割り当ても、随時更新されていくのである。

このことを知っている私には、検索するたびに画面の裏から競り人の声が聞こえるというわけだ。まあ冗談だが。

こんな新種のオークションの出現は、経済学の進展と無関係ではない。検索エンジンの登場よりずっと以前から、経済学は、オークションが暮らしに大きな影響を与えることを予期していたからだ。



私が経済学者をめざして勉強していた1980年代、アメリカではオークション研究が大ブームで、優秀な若手がこぞって新理論を競い合っていた。私は、何がこれほどまでに精鋭たちを駆り立てているのか分からなかった。そこで、牧伸二よりもっと古い「オークションの歴史」をひも解くことにした。

古代バビロニアでは、オークションによって婚姻関係を成立させていた。美人から順番に一人ずつ競りでお嫁さんを決めていたそう。イギリスの役人は、オークションによって、



古船を民間に払い下げていた。ローソクの火が消える直前に指値した人が落札する、というやり方で、役人はうまく息を吹きかけて誰に落札させるかをコントロールしていたとか。つまりイカサマだ。

そして、ローマ帝国では、2世紀に帝位がオークションで売られたことがある。兵隊が強くなりすぎ、法外な給料を要求するので、皇帝の成り手がなくなった。そこで、公募して、一番高い給料を保証する人に帝位を与えることにした。だが、落札者となった第19代皇帝ユリアヌス帝は、給料を払えず、2か月後に打ち首になった。

日本にも例がある。豊臣秀吉は、城の建設にあたって、入札によって業者を選ぶとした。業者仲間は、予想外のお達しにとまどい、打ち合わせして、どこかの業者が出し抜いて、安値受注しないように、「談合」で難をしのいだ。

ううむ。ろくでもない話ばかり。しかし、経済学の俊英たちはそうは考えなかった。オークションの底知れないポテンシャルを見定めよ、というわけだ。



では改めて、競り上げの仕組みを見よう。メロン1個に、あなたはせいぜい1000円くらいしか払えないと思っている。私には1200円の価値がある。ゼロ円から競り上げていくと、あなたは999円まで粘るが、結局私が落札し、1000円を売り手に払って一件落着する。

落札者である私が支払った金額1000円は、もし私がいなければあなたがメロンに支払ったであろう額、つまり、私の言い分を通すことに

よってあなたがこうむる損失分、それに等しい。この落札できなかつた人の損失分（ここでは1000円）より落札者の便益（ここでは1200円）が高いのなら、そのときにのみ、社会全体の便益の総和は高まることになる。このとき、競り上げでは、「無理を通そう」と自分が思っている価値より高値で札を入れたり、「支払いをケチろう」と逆に安値で札を入れても、本人の得にならない点に、要注目。

だから競り上げは、各参加者に、その対象物をどのくらい欲しているかについて、正直に表明させることができる。こうして、本当に一番欲している人に対象物を割り当てることができる。

ここで、競り上げなくても、一発でそれと同じ結果となる、「二位価格オークション」という方法を紹介する。これは一番高い価格を入札した人が落札して、二番目に高い価格を払うというやり方だ。メロンの例であなたの立場で考えてほしい。そう、私もあなたも正直な価格を答えるのが得策なのだ。そして、私は1200円の札を入れ、あなたが1000円の札を入れた結果、私が落札して1000円支払うというもの、社会全体の便益の総和を最大にできる。とても単純化した例なのだが、なんとも魔術的ではないか。

オークションが持つこの願ってもない特性を、社会のさまざまな問題の解決にも応用できないだろうか。そうすれば、いつでも、国民のニーズを正しく把握でき、国民全体の満足を最大限に高められよう。さらには、権力者や癒着企業が、既得権益を振りかざし、大声で主張して、なん

でもかんでも政治決着にもっていく。そんな不公平で、不透明な事態を回避できよう。

もちろん、値付けの魔術に万能ルールはない。例えば、生徒を学校に割り当て、重病の患者に移植臓器を割り当てる、若い医師を病院に配属する、といった、値付けの魔術を無思慮に使ってはいけない、金勘定だけでは割り切れない問題は、世の中にたくさんある。だから、問題ごとにふさわしい決め方のルールを、ていねいにオーダーメイドしないといけない。

こんな風に考えて、オークションの経済学はスタートしたわけだが、今では多くのノーベル賞を輩出する花形分野になった。

■ ■ ■

では、最後に、世界中がオークションをこぞつて取り入れた、エポックメイキングな出来事についてお話ししよう。それは、携帯電話事業者に周波数利用免許を割り当てる、電気通信産業の政策現場において起こった。

20世紀末のアメリカ政府には、携帯電話がどのように普及し進化していくのか、見当がつかなかった。しかし、携帯電話サービスには無限の可能性があり、事業者のビジネスには多様性があることを重視した結果、周波数免許を細分化して、各事業者が、思い思いのビジネスを実現できるように、複数の免許を自由に組み合わせるパッケージ購入できるようにしたい、と考えた。しかし、そのためには、前例のない複雑なオークションが必要になる。

そこで、アメリカ政府は、ルール設計を、その道のプロである経済学者たちに依頼して、「SMRA」(Simultaneous Multiple Round

Auction: 同時複数回オークション)とよばれる新ルールを完成させたのだ。それを実施した結果、数兆円規模のとてつもない大商いになったのである。これはアメリカ国民の度肝を抜いたこのオークションの結果は価格が高騰して単なるバブル現象のように思えなくもないので、大手を振って大成功とは言いがたい。が、それでも透明性の高い配分を実現できたこと、国民の電波利権を守ったことには大きな意義がある。

アメリカに続けと、世界中が周波数免許割り当てにオークションを導入した。その過程では、談合や不都合もたくさん起きたが、この世界規模の経験は後々の妙薬として活かされた。今日では、OECD加盟国すべてが、オークションによって周波数免許を割り当てている。

いや、一国だけそうじゃない国があった。それは日本だ。

各国政府によるオークション導入は、いわば「自由主義のマスクをかぶる全体主義国家」でないことを世界に知らしめるための試金石だ。なのに、わが国は、結局一度も真面目に取り合つてこなかったではないか。これ穏やかでないと思えているのは、ほんとに私だけ？

■ ■ ■

次号は、もっと穏やかでないテーマを思い切ってお話ししよう。今どきの若い経済学者は、さまざまなデータを収集分析して、世の中にあると驚く結びつきはないかを熱心に探している。思いもよらない因果を見つけ、「パンドラの箱」を開けてしまうことだってある。というわけで、次号のテーマは「タブー」。真面目に経済学をやれば、この障壁にぶちあたる。重たいテーマだ。

自らの介護・認知症に備える 介護にかかる費用・制度を知っておこう

日本人の平均寿命は年々延び続け、2014年には男性80・50歳、女性86・83歳となりました。その一方で、認知症になることやひとりで老後を迎えることを心配する声をよく聞きます。仮に介護を受けることになると、当然のことながら、生活費以外にお金がかかります。介護にかかる費用・制度を知っておきましょう。

小川 千尋（おがわ ちひろ）

1994年FP資格取得。ファイナンシャル・プランナー、子育て・教育資金アドバイザー、終活カウンセラー、エディター＆ライター、整理収納アドバイザー2級。独立系ファイナンシャル・プランナーとして、主にマネー誌、一般誌などのマネー記事の編集・執筆・監修・セミナー講師などで活動。子どもマネー総合研究会メンバー。ブログ：ファイナンシャル・プランナー＆マネーエッセイスト小川千尋の『今日も日本晴れ!』

要介護者・認知症高齢者は増え続けていく

厚生労働省によると、65歳以上の高齢者数は、2015年は3,395万人（人口に占める割合：26・8%）ですが、2025年には3,657万人（同30・3%）になる予想です。また、これに伴い、公的介護保険の要介護認定を受ける高齢者は、2012年は533万人で、公的介護保険制度がスタートした2000年の2・4倍になっているほか、認知症を患っている高齢者は2012年で約462万人（うち介護保険利用者：305万人）、2025年には700万人（同：470万人）

を超える推定されています。

さらに、民間有識者で構成される日本創成会議が、団塊の世代がいつせいに75歳となる2025年には、東京都と千葉県、埼玉県、神奈川県、介護施設が13万人分不足するとの推計をまとめ、介護施設などが相対的に充実している41地域への移住を提言しました（2015年6月公表）。

こうしたデータや提言などを見ると、自分の老後はどうなるのだろうと心配になってしまいます。まずは、要介護にならないよう、生活習慣に気を配ったり、運動で身体を鍛えておくなど、できる範囲での努力が大切です。ただ、要介護になった場合のことも想定し、必要となる費用についてある程度

表1: 要介護別の身体状況の目安

要介護度		身体の状態
要支援	1	要介護状態とは認められないが、社会的支援を必要とする状態
	2	生活の一部について部分的に介護を必要とする状態
要介護	1	
	2	軽度の介護を必要とする状態
	3	中等度の介護を必要とする状態
	4	重度の介護を必要とする状態
	5	最重度の介護を必要とする状態

※生命保険文化センター「介護保障ガイド」を参考に筆者作成。

のイメージを持っておくことも大事です。ただ漠然と不安になるのではなく、「今の自分に何が足りないのか」をきちんと理解しておきましょう。

要介護になると、多くの人は公的介護保険によるサービスを利用することになります。最初に、現状の仕組みと費用を確認しておきます。ただ、40～50代の人を利用するようになる30～40年後には様変わりをしているかもしれないので、数年に一度は制度全体を確認してみるほか、大きな改正のニュースなどがあれば、それによって費用負担がどう変わるかを認めるようにしましょう。

まずは、公的介護保険の仕組みを知っておこう

公的介護保険（以下、介護保険）は、40歳以上の全国民が加入して保険料を負担し、原則65歳以上で支援や介護が必要になると「介護サービス」を利用できる制度です。要介護度別の身体状況の目安は表1を参照してください。

介護サービスには、「在宅サービス」「地域密着型サービス」「施設サービス」の3種類があり、在宅サービスと地域密着型サービ

スには、自宅で受けるサービスと施設で受けるサービスがあります（16ページ／種類は表3、4参照）。このほか、要介護の初期段階における介護環境の整備のために、福祉用具貸与、特定福祉用具購入費の支給、住宅改修費の支給というサービスもあります。

いずれについても、原則として利用料の1割（一定額以上の所得のある人は2割）を負担すれば、必要なサービスを受けることができますが、介護保険で利用できるサービスは、要介護度によって月々の限度額が決まっております（17ページ／表5参照）、これを超えた分は自己負担となります。また、施設サービスでは、食費＋日常生活費は自己負担です。

このように、「原則1割負担」といっても、実際の自己負担はもつと多くなることがあります。

一方で、過度な負担には歯止めも用意されており、「高額介護サービス費」と「高額医療合算介護サービス費」という自己負担の軽減制度があります。なお、高額介護サービス費による自己負担限度額（月）は、3万7200円ですが、27年度から公的医療保険制度における「現役並み所得者」に該当する人

は、4万4400円に引き上げられました。簡単な具体的例で見てみましょう。

脳梗塞で倒れて半身麻痺となり、要介護3に認定された方が、在宅サービスを中心としつつ、月に数回、施設に通ったりショートステイした場合を仮定すると、表2のとおり、月当たりの自己負担は4万円以上がかかります。

表2: 介護サービス料と自己負担額の例

(円)

	1回当たり	利用回数	料金
訪問看護（医療的管理）	8,140	月5回	40,700
訪問看護（身体介助）	3,880	月22回	85,360
デイケア（リハビリ）	7,720	月13回	100,360
ショートステイ	8,550	月3日	25,650
福祉用具レンタル			25,000
合計			277,070
ショートステイ時の滞在費＋食費の3日分は7,500円			

…要介護3の支給限度額は、269,310円

①支給限度額を超えた分は全額自己負担：277,070円－269,310円＝7,760円

②支給限度額内の1割負担：269,310円×0.1＝26,931円

③ショートステイ時の滞在費＋食費：7,500円

自己負担計＝①＋②＋③＝42,191円

施設介護には、公的な施設と民間の施設がある

主な公的施設は、介護老人福祉施設（特別養護老人ホームⅡ特養）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設です。

費用は、サービス費用（入所する施設・居室のタイプ、要介護度で異なります）の1割と食費、居住費、日常生活費が自己負担で、介護老人福祉施設だと、月額6・3万円くらいが必要になります（「25年度介護サービス施設・事業所調査」厚生労働省）（所得の低い人には軽減措置あり）。

公的3施設に入居申し込みができるのは、要介護3以上。入所希望者が多いので、入所待ちの期間（待機期間）が長くなる可能性があります。待機している間、在宅サービスを利用しながらの介護が難しい場合は、民間の施設を利用することになります。民

表3: 在宅サービスの種類

	サービスの種類
自宅で受けるサービス	訪問介護
	訪問入浴介護
	訪問看護
	訪問リハビリテーション
	居宅療養管理指導
施設などを利用して受けるサービス	通所介護（デイサービス）
	通所リハビリテーション（デイケア）
	短期入所生活介護（福祉施設でのショートステイ）
	短期入所療養介護（医療施設でのショートステイ）
	特定施設入居者生活介護

※生命保険文化センター「介護保障ガイド」を参考に筆者作成。

表4: 地域密着型サービスの種類

	サービスの種類
自宅で受けるサービス	夜間対応型訪問介護
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
施設などを利用して受けるサービス	認知症対応型通所介護
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
	小規模多機能型居宅介護
	複合型サービス

※生命保険文化センター「介護保障ガイド」を参考に筆者作成。

間施設の代表例としては、有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅（サ高住）があり、要支援・要介護にかかわらず入所できます。

- ・有料老人ホーム：大きく介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、健康型有料老人ホームに分かれています。
- ・サ高住：高齢者の受け入れ支援に特化した集合住宅で、バリアフリーなど一定の設備とサービスが提供される賃貸住宅です。

民間施設にかかる費用は、入居一時金（将来の費用を含めた前払い金）の有無や、立地、設備、介護レベルなどによってまちま

ちで、月々の費用は、10～40万円と相当な幅があります。

介護費用は 目安が立てにくい

介護にかかる費用は、要介護度とどこでどのような介護サービスを受けるか、それが何年続くかで異なります。国の方針は、「介護はできるだけ在宅で」なので、ギリギリまで在宅で介護保険のサービスの限度額+αでサービスを利用し、どうしても在宅介護が難しくなったら施設へ入ると考えるのが一般的でしょう。これは、

20～30年後も変わらないと思われます。

とくに、冒頭でも触れたように、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県は施設不足で安価で優良な施設に入ることが難しくなる可能性があります。こうしたエリアの人は、早くからライフスタイルの見直しも含めて少し長い目でみたプランを考えておくことが大事だと思います。

さて、在宅介護で介護度が軽いうちは公的年金と貯蓄の取り崩しで費用の工面はできるでしょうが、施設入所となると貯蓄の取り崩しが急ピッチで進む可能性

があります。今後、健康保険料や介護保険料などの義務的負担は増え、医療費も増していくと予想されるので、老後の生活費の中から介護費用を工面するのは厳しくなるでしょう。

2012年度厚生労働省委託調査「仕事と介護の両立に関する実態把握のための調査」によると、現在でも、介護者（主に子世代）が介護費用を負担しているケースが約4割にも上りますが、できれば子世代にお金の面で迷惑をかけないよう、介護・医療資金（介護まで至らなくても、高齢になると医療費もかかります）を考慮した

表5: 在宅サービスの支給限度額と自己負担額(月額)

要介護度		支給限度額	自己負担額 (原則 1 割)
要支援	1	50,030 円	5,003 円
	2	104,730 円	10,473 円
要介護	1	166,920 円	16,692 円
	2	196,160 円	19,616 円
	3	269,310 円	26,931 円
	4	308,060 円	30,806 円
	5	360,650 円	36,065 円

※生命保険文化センター「介護保障ガイド」を参考に筆者作成。

老後資金の準備を考えたいものです。とくに、いざとなったときに介護費用を負担してくれる子どもがいらないおひとりさまは、介護・医療費用の準備をより早くから意識して怠らないようにしたいですね。

準備方法はシンプルに積み立てていくしかありません。40～50代は、これから20～30年の時間があるので、民間の介護保険で備えるのも選択肢の一つとなります。また、お金にお金を稼いでもらう運用にも組みみたいところですが、老後のために確実に確保しておきたい分は安全性の高い金融商品、さらにその上で余裕ある老後のた

介護・認知症の不安は
身近な相談窓口を
利用しよう

そろそろ介護が必要な、認知

めに増やしたい分はある程度のリスクを覚悟して収益性の高い金融商品、というように、資金によって運用方法を使い分けることが大切です。なお、当然のことですが、「低いリスクで高いリターンを得られる」ことはありません。老後資金を増やそうと焦るあまり、金融詐欺の被害に遭わないように気を付けましょう。

症かも…と不安になったら、家族に相談するとともに、自治体の介護相談窓口を利用しましょう。ちなみに、筆者が住んでいる自治体には、「高齢者あんしん100番」という相談窓口があり、高齢者の日常生活や介護に関するさまざまな悩み・不安・疑問に対して、相談員が自治体のサービスや窓口を案内してくれます。おひとりさまにも心強い相談相手になってくれることでしょう。

また、介護保険法で定められた地域住民の保健・福祉・医療の向上、介護予防マネジメントなどを総合的に行う地域包括支援センターでも相談できます。コラムで紹介している社会福祉協議会に相談してもいいでしょう。

介護サービスを受ける前に、近くにあるサービス事業者や介護施設の概要、サービス内容、職員体制、費用などの情報を調べたい場合は、厚生労働省の「介護サービス情報公表システム」(<http://www.kaigokensakujp/>)、全国の福祉サービスの第三者評価結果が知りたければ独立行政法人福祉医療機構の「ワムネット」(<http://www.wam.go.jp/>)のサイトを閲覧してみてください。

成年後見制度と日常生活自立支援事業がカバーしている範囲の違いを知っておこう

高齢になると認知症で判断能力が衰えてしまったときが不安です。とくに、おひとりさまには切実な心配事といえるでしょう。そんなときに使える公的制度を2つ紹介します。

全国の市町村にネットワークがある社会福祉協議会が実施している「日常生活自立支援事業」は、ある程度、判断能力がある段階で利用できます。福祉サービスの受け方や介護保険関係の書類の書き方が分からない、お金の管理に困っているといった人が対象です。本人に、社会福祉協議会と契約できる判断能力がなくなると、本人にふさわしい援助につなぐ「成年後見制度」の利用を支援してくれます。詳細は最寄りの社会福祉協議会に問い合わせてください。

「成年後見制度」には、「任意後見制度」と「法定後見制度」があります。前者は、判断能力がなくなつたときに備えて代理人(任意後見人)を決めておくもの。契約は、原則として公証役場で行うので、詳しくは公証役場に問い合わせてください。判断能力が「不十分、著しく不十分、常に欠けている」状態で利用できるのが「法定後見制度」です。「後見・保佐・補助」の3種類あり、本人の判断能力の程度に応じて選びます。本人の住所地の家庭裁判所に後見開始の審判などの申し立てが必要です。申し立てられるのは本人、配偶者、4親等内の親族ですが、身寄りのいないおひとりさまは市区町村長が申し立てを行ってくれます。

金融庁

金融庁における金融経済教育の取組みについて

金融庁は、金融リテラシーの向上に向けて、関係団体とも連携しながら様々な取組みを行っています。その中から、主なものについて簡単に紹介します。

金融取引の基礎知識をまとめたガイドブック「基礎から学べる金融ガイド」や「最低限身に付けるべき金融リテラシー」などの小冊子を作成して全国の学校や地方公共団体等に配布するとともに、高校や地域の市民講座などに金融庁や財務局等の職員を講師として派遣しています。

大学生に対しては、関係団体と連携した講義を実施しています。具体的には、「最低限身に付けるべき金融リテラシー」の内容を項目別・年齢層別に具体化・体系化した「金融リテラシー・マップ」に基づいた講義を提供しています。

家計管理と生活設計に関する一般の方々からの相談に応じるための無料相談会も、関係団体と協力して実施しています。また、金融サービスを利用することに伴うトラブルの発生を未然に防止するための事前相談の充実を図る

ため、当庁の金融サービス利用者相談室に「事前相談（予防的なガイド）」を開設して対応しています。

金融知識の普及を目的に、一般の方々を対象としたシンポジウムを財務局等とともに各地域で開催しています。このシンポジウムでは、参加者の関心が高く時宜を得たテーマとなるよう工夫しています。

このほか、本年1月には、経済協力開発機構（OECD）、アジア開発銀行研究所（ADB I）及び日本銀行との共催により、「ADB I・OECD・日本ハイレベル・グローバル・シンポジウムー金融教育を通じたより良いライフプランニングの促進ー」を東京で開催しました。

今後とも、国民一人一人がより自立的で安心かつ豊かな生活を実現できるよう、関係団体ともより一層連携しつつ、金融経済教育を推進していきたいと考えています。ここでご紹介した当庁の取組みについても、是非ご活用ください。



ハイレベル・グローバル・シンポジウム



基礎から学べる金融ガイド

金融広報中央委員会会長 就任挨拶

「金言」の重み

金融広報中央委員会 会長 吉國 眞一



もつ人の心によりて宝とも仇^{あだ}ともなるは
黄金^{こがね}なりけり（昭憲皇太后）

7月1日に、金融広報中央委員会会長を
拝命しました。終戦後に「貯蓄増強中央委
員会」として設立された当委員会は、その
後名称を変えながら、一貫して社会におけ
る「おかネ」の役割についての啓発活動を
果たしてきた組織です。金融界に身を置き
つつ、大学の非常勤教員として金融教育の
現場にも接してきた経験を活かして、少し
でもお役に立てればと思っております。

その教員として日ごろ感じていたのは、世
代間のギャップでした。当委員会の発足とほ
ぼ同時期に生まれ、「戦争を知らない子ども
たち」と呼ばれた私たちの世代は、高度成
長と高金利を子どものころに経験しています。
一方、物心ついてから預金金利がほぼゼロ

で推移してきた現代の若者は「金利を知ら
ない子どもたち」でしょう。金融教育の世
界に「72の法則」というのがあります。複
利計算で元金が2倍になる年数は72を金利
で割ればほぼ近似できるというもので、た
とえば金利8%なら9年（ $72 \div 8$ ）であ
り、実際9年間でほぼ2倍になります。郵
便貯金の定額貯金金利が8%だったような
ころなら、具体的に説明しやすい法則でし
た。しかしこれを現在の預金金利に適用す
ると、2倍に達する期間は軽く千年を越え
ます。こうした状況で若者に貯蓄の役割や
複利の力を教えるのは容易なことではあり
ません。

そこで役に立つのが、感覚的に理解しや
すい名言です。おかネに関する名言ですか
ら、文字通り「金言」ということになります。

誰でも知っているベンジャミン・フランクリンの「時は金なり」、信用金庫の発展に
尽くした小原鐵五郎氏の「貸すも親切、貸
さぬも親切」、詠み人知らずの「いつまで
もあると思うな親とカネ、ないと思うな運
と災難」など、分かりやすくかつきわめて
深い含蓄を持った金言を授業で使うと、そ
れまで居眠りをしていた学生が急に興味を
示すといったことがたびたびありました。

なかでも私が愛読しているのが、冒頭に
掲げた明治天皇の皇后、昭憲皇太后の御歌
です。

「おかネとのつき合い方は、心がけ次第」
という教えは、リーマンショック、ユーロ
危機といったグローバルな問題から、「オ
レオレ詐欺」のような身近な話まで、おか
ネに関するすべてに通用する真理と言える
のではないでしょう。昭憲皇太后は、「時
は金なり」のベンジャミン・フランクリン
を尊敬し、フランクリンの言葉を和歌に訳
して紹介されたこともあったそうです。ま
たこの歌に深く感銘を受けた「日本資本主
義の父」澁澤栄一からは「論語と算盤」、「士
魂商才」という金言が生まれています。時
代や洋の東西を超えて人びとの心に響くこ
れらの金言を金融教育の場でも活用してい
けないだろうかと思っています。

新パンフレット 「大学生のための 人生とお金の知恵」のご紹介〈後編〉

前号では、新パンフレット『大学生のための 人生とお金の知恵』の内容を紹介しました。
今号では、このパンフレットを使って大学で講義を行ったときの学生の反応を紹介します。



■新パンフレット目次

はじめに	
● 本書は、『人生とお金』に関して身につけていただきたい知恵を、大学生の 皆さんに提供して紹介するものです。大学社会人の方にも役立ちます。	
● 人生のデザインをしましょう。また、社会人として自立できる力、夢を 実現できる力を身につけましょう。本書がその一助になれば幸いです。	
本書の内容	
I 人生のデザインとお金	1
1. これまでに学んだお金	1
2. 人生のデザインを学ぶ	3
3. ライフプラン	4
4. 人生とお金	5
5. 働くこととお金	7
6. 人生の不確実性と意思決定	11
II お金の知恵	12
1. お金の機能と特徴を理解する	12
2. 収入を把握する	15
3. 支出を把握する	16
4. お金の使い方を考える	17
5. お金を貯める	20
6. お金を運用する	22
7. お金を借りる	34
8. 損失に備える	41
III 不確実な人生に臨む	47
1. 人生の不確実性に向き合う	47
2. 不確実性の中で意思決定する	49
3. セーフティネットを理解する	55
4. お金に関するトラブルを避ける	59

大学における講義

金融広報中央委員会では、新パンフレット『大学生のための 人生とお金の知恵』を、大学における先生方の講義の副教材などとして無償で提供しているほか、大学に向いて講義も行っています。

今回は、このパンフレットを使って1コマの講義を行ったときの、大学生の反応をご紹介します（以下は、アンケートによく記されている感想などです。受講者は1年生が中心です）。

① こんなにお金か？

学生には、まず、高校卒業まで

にどれくらいお金がかかったか、大学ではどのくらいお金がかかるか、簡単に試算してもらいます。

すると、たいてい、「こんなにお金がかかっているとは！」と驚きます。そして「親に感謝したくなった」との感想が付け加えられます。

一生にかかる費用（教育、住宅、老後ほか）についても学ぶと、金額の大きさに驚きの声が上がります。

② 能力を高めたい

「働くこと」が、自分の人生にとって、また社会にとって、どのような意味を持つのかを考えます。そして、「働くこと」の報酬（収入）は、他者

に提供できる価値の大きさによって決まることを理解すると、「大学に入って、気が緩んでいた（勉強していなかった）」との反省と、「価値を提供できるよう、これから能力を高めていきたい」との決意が記されます。

③ 時間の使い方を見直したい

学生にとって、「いま」が一番能力が伸びる時期であり、「時間」が貴重な「資源」であることが理解されると、時間の使い方への関心が高まります。

「1日の限られた時間をバイトや勉強にどう配分するか、見直してみたい」、「勉強するときには、『集中』したい」などです。

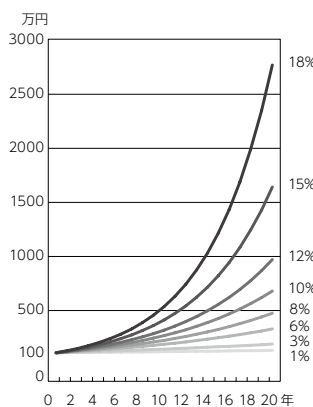
④ 夢を描きたい

人生において実現したい「夢」を書き出してみます。また、「30歳のときにどんな自分になっていたか」も考えてみます。

「中学までは夢を描いていたが、いまは忘れてしまっていた」とか、「自分はこう生きたいのか（何をしたいのか）、よく考えたことがなかった」といった感想が大半です。

何が幸せか、どんな仕事が好き

■複利の力



ここでの金利は複利です。複利

わかります。

この法則は、「72を金利で割ると、お金が2倍になる年数が概算でわかる」というものです。たとえば消費者金融でお金を年18%で借りると、約4年で借りたお金は2倍になることが、この法則を使うと簡単にわかります。

講義のうち「お金の知恵」に関する部分については、「72の法則を初めて知った。これは使えると思った」との感想が最多です。

⑤ 複利の力がわかった

「幸せになりた」との感想も目を引きま

とは、「利子にもまた利子がつく」ということです。

複利のグラフ（左上図）を学生に示して説明すると、「複利の力がよくわかった」との感想が聞かれます。

⑥ 「天引き貯蓄」をしたい

ライフプランと関連付けて、貯蓄とお金の運用についても勉強します。生きていくため、夢を実現するために貯蓄が必要であることは学生はすぐに理解します。そして、「社会人になったら、「天引き貯蓄」をしたい」との決意を記してくれます。

「天引き貯蓄」とは、手取り収入のうち、貯めようと決めた一定額を最初に差し引いて貯蓄することです。「毎月●万円」を自動的に差し引いて別の口座（積立口座等）に入れてもらう方法をとります。

これが貯まりやすい方法であることが理解されると、素直に実行しようとしてくれます。

⑦ インフレ？

物価が上がっていること（インフレ）は、お金の価値が下がっていることです。インフレが進む中で現金や普通預金だけのお金をもっていると、モノ

やサービスを買う力が低下します。デフレ下で育った大学生は、実感を持って受け止めているように見えませんが、「インフレにはどう対応すれば良いのか」との関心は持っています。

⑧ お金の運用に関心を持った

お金の運用には、お金の価値を「守る」目的と、お金を「ふやす」目的があることを理解したうえで、金融商品の「安全性」と「収益性」、リスクとリターンとの関係、リスク許容度、分散運用、長期運用、コストの重要性などを学びます。

「お金の運用は自分には関係ない」と思っていたが、講義を聞いて運用も大事だと思った、「天引き貯蓄で」お金が貯まったら、リスクをとれる範囲で運用も考えてみたい」と記す学生もかなりいます。その理由としては、「働いて貯めたお金の価値を守りたい」、「年金が不安。老後資金が不足しないようにしたい」などと記されています。

本パンフレットの利用、大学での講義について

本パンフレットは、当委員会の

ホームページ（「知る」と <http://www.shiruporto.jp/>）でご覧いただけます。大学などで教材として利用いただける場合、希望部数を送付します（無償）。左記あてにご請求ください。

また、当委員会では、本パンフレットを使って大学への出前講義を実施しています。ご希望の方は、メールアドレス: info@saveinfo.or.jp あてにご連絡ください（可能な範囲でのみ実施しており、ご希望にに応じられない場合もあります。あらかじめご了承ください）。



こちらからPDFファイルをダウンロードすることもできます。

宛先：金融広報中央委員会 刊行物担当

●メールアドレス
books@saveinfo.or.jp

●FAX番号
03-3510-1373

件名：刊行物請求

記載事項：①申込者氏名、②郵便番号、③送付先住所、④電話番号、⑤本パンフレットの名称（「大学生のための 人生とお金の知恵」）、希望部数、⑥利用目的、利用日、⑦その他連絡事項

金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。

今回は、鹿児島県立霧島高等学校教諭・新留崇夫先生が商業科教諭として取り組んでいるキャリア教育分野を中心とした金融教育の実践をご紹介します。

商業科で多彩な金融教育実践

新留先生は鹿児島県の高校商業科で約20年間の経験を持つベテラン教師です。これまでに各赴任校で、「販売体験」、「インターシップ」など、生徒の成長段階に応じた体系的な金融教育を実践したほか、県内の島嶼地区の高校では地元焼酎の知的財産を研究し、県内商業科として初めて商標登録を行いました。このほかにも、地元企業と連携した商品開発や観光商品開発、インターネッ トショップの開設・運営なども手がけてきました。

霧島高校赴任後は、近隣の国分中央高校、財部高校の商業科の先生方と協力して「環霧島高校生会議」を設立、鹿児島県金融広報委員会より

金融教育研究グループの委嘱を受けました。各校で金融教育の指導法や実践のあり方を研究するなかで生まれたのが、「長期型インターシップの実践・研究」です。

「霧島高校には県立高校で唯一、観光の学習ができる総合学科『観光ビジネスコース』があります。その特色を生かした『おもてなし活動』と『ホテル実習』は、金融教育におけるキャリア教育分野の実践にふさわしいと考えました」（新留先生）。



「おもてなし」と「ホテル」、 二つの観光ビジネス

霧島高校の「おもてなし活動」と「ホテル実習」は2年生の1・2学期に行われています。

鹿児島県
鹿児島県立霧島高等学校
新留崇夫教諭



「おもてなし活動」は、1学期の毎週金曜日、JR肥薩線の嘉例川（かれいがわ）駅で行います。同駅は1903年に開業した当時の木造駅舎が残る国の登録文化財に指定された観光名所。そこに観光列車で訪れる観光客を歓迎し、地元の霧島茶でもてなすという活動です。

「生徒たちが提供するのには旅の想い出」です。おいしいお茶を飲んでいただくために、絶妙のタイミングを見計らって準備を行いますし、出会いと別れのシーンは「感動」そのものです。観光客に喜ばれるのはもちろん、地域の方々からもこの活動には大きな期待が寄せられています」と新留先生。活動を始めてからは、『鉄道の日イベント』や市の『環霧島周遊列車観光ツアー』、その他セレモニーへの参加依頼が来るようになるなど予想以上の反響がありました。

さらに観光商品開発の依頼もありました。そこで県内の商業高校で初めて「日帰りバスツアー」の商品を企画、ネット販売し、生徒たちが観光ガイドまで務めました。ラジオなどにも出演し、霧島の観光PRに一役買うなど、その活躍は多岐にわたります。

また、「ホテル実習」は霧島市観光協会と地元ホテルの協力により、2学期の毎週金曜日に実施しています。

「この活動は主に客室清掃に従業員の一人として参加するもので、職場体験ではなく『職業訓練』として、通常の従業員と同じ役割をこなす点が大きな特徴です。生徒たちの頑張りは高く評価されており、大変けい達成感は大きいようです。インターンシップを経験すると、社会人としての基礎力が高まり、生徒たちが自主的な活動ができるようになったことも成果の一つと言えるでしょうね」と新留先生は語ります。

商業科で学べる 金融教育の総合力

「実は、商業科の教育は金融教育の内容の95%をカバーしており、通常の授業そのものが金融教育に関連しています」と新留先生が話すように、このインターンシップを含め、金融教育全体を意識しているのが、先生のカリキュラムデザインの特徴です。（表1）

先生のカリキュラムでは、商業科のほかに、家庭科で『消費者生活』、公民科で『金融や経済の仕組み』などを学ぶとともに、外部講師による

チラシデザインは、生徒たちが市販のプレゼンテーションソフトで作成して業者が仕上げたもの

【表1】新留先生の金融教育における
キャリア教育分野・経済分野・消費生活分野のカリキュラム

■ 高2

4月

代表生徒が地元の製茶工場訪問

お茶の製造方法や霧島茶の歴史、生産農家の現状をヒアリング
お茶のインストラクターより、おいしいお茶の淹れ方指導を受ける
全員でお茶の淹れ方実習（短時間で多くのお茶を準備する手順の確認・実践）
嘉例川駅に関する歴史など簡単な説明ができるよう学習

5月～7月

毎週金曜日に「おもてなし活動」

朝、学校でお湯・茶器・テーブル・のぼりを準備して嘉例川駅へ
到着後、周辺の清掃をしながら観光列車を待つ
10時25分 観光列車「はやとの風」到着（停車時間15分）
おいしい霧島茶でおもてなし
観光記念に写真撮影のお手伝い
10時40分の出発を横断幕で見送り

9月

鹿児島と霧島の観光の歴史を学ぶ授業

温泉の効能、旅館やホテルの部屋割り方法まで学習

10月～
12月

毎週金曜日に従業員として「職業訓練」

実際に従業員の一人として同じ業務を行う
例：清掃業務＝3時間で18部屋（1部屋10分で清掃）

3学期1月
または2月

「金融経済教育講座」（外部講師による出前講座）

適切な金融商品、金融手段を選択できるように、商品の仕組みや契約にあたっての基本姿勢を学ぶ

■ 高3

7月

「ライフプランニング授業」（外部講師による出前講座）

将来設計をグループワークで検討しながら、ライフプランシミュレーションを行い、分析・改善によって金融感覚を身につけていく

8月

進路相談

「金融経済教育講座」（2年生の3学期）、「ライフプランニング授業」（3年生の7月）を受講し、3年生の8月にいよいよ進路指導（面談）に臨むという流れにしているといます。
『『海を觀し者には水を為し難し』』とはこのことでしょう。総合的な金融教育を受けた生徒たちはカリキュラムが終わる3年生の8月には、進路への意識が変わり、すっかり現実に向き合う姿勢ができています。また、地域の方から直接感謝の言葉をいただいたことで、社会貢献の意義や感謝の気持ちを肌で感じ取り、地域のために頑張ろうという意欲も出てきます。相手のためを思って行動

する『思いやりの心』も生まれ、人間的に一回り大きくなっていますね』というのが新留先生の評価です。
「おもてなしの心」や「働く意義」についての学びが「思いやりの心」や「学習意欲」、「社会への貢献」へとつながるだけでなく、検定試験や資格取得などの学習成果にも顕著に現れ、資格取得率は約3倍に。また、就職先も地元志向が高まり、地元のホテルへ就職する生徒が増える一方で、離職率は低下しているといえます。
今年で4年目を迎えた霧島高校の「長期型インターンシップ」の取り組みは、すでに学校の教育課程としてしっかりと定着しているのです。

新留先生は、自身の研究を深める取り組みとして「先生のための金融教育セミナー」（主催：金融広報中央委員会）や「金融・金銭教育協議会」（主催：鹿児島県金融広報委員会）、「日本商業教育学会」などに積極的に参加し、報告活動を行っています。2015年度はさらに研究を進展させるため、鹿児島県長期派遣教員として鹿児島大学の大学院に進み、「新たな時代に求められる金融教育カリキュラムの開発」をテーマ

商業科における 金融教育の可能性とは

※「故觀於海者難為水、遊於聖人之門者難為言＝故に海を觀し者には水と為し難く、聖人の門に遊びし者には言と為し難し」（孟子・尽上）

【表2】商業科における金融教育プログラムの例

金融教育		商業・家庭・公民	
分野	評価の観点	科目	到達性
金融の働きや役割を理解する	知識・理解	ビジネス基礎 ビジネス基礎 ビジネス基礎 マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要
		銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要
金融機関の役割、中央銀行の機能について理解する	知識・理解	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要
		銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要
金融の働きについて理解する	知識・理解	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要
		銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要
金融の働きや役割を知り、金融経済の発展を理解する	知識・理解	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要
		銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要	銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要 銀行・信用金庫・協会の概要

に研究をしています。

「高校の商業科における金融教育は、金融広報中央委員会の『金融教育プログラム』に示されている『生活設計・家計管理』、『消費者生活』、『金融や経済の仕組み』、『キャリア教育』の4つの分野に広く内包されていますが、なかでもとくに『キャリア教育』の分野は地域における商業教育の実践としても大きな期待が

寄せられています」と新留先生は解説します。(表2)

「現在の教育は、通常『知っている(知識・理解)』↓分かる(技能)↓使える(実践)』の順番に進められますが、『経験から学ぶこと』に主眼をおくと、学習の順番が『実践↓技能・方法↓知識・理解』となります。誰もがまず実践を経験することとなります。私はインターンシップを通して、生徒の

思いがけない長所を見つけたこと、知識・理解の面では目立たなかった生徒たちが予想以上の実践力を発揮したことなど、従来の学習指導案では測れない生徒たちの潜在的な能力を目の当たりにしました。実際の活動を経験した生徒たちが、自分の進



路に自信を持って社会に出ていく頼もしい姿を見るにつけ、実践の大切さを実感しています。

「『金融教育プログラム』の内容を見ると、金融教育は新しく始める教育ではなく、普段の授業の中で実践しているものであり、決して難しいことではないことが分かります。学校で金融教育に関わる先生が、『新しいこと』ではなく、知識を再構成し定着させる授業を企画していけたら、18歳で社会に出る子どもたちにも長く安心して暮らしていくための知識・知恵を身に付けさせることができるのではないかと思います」と新留先生は提案しています。

『商業科は金融教育の宝庫』 ～長期型インターンシップで生きる力を養う～

鹿児島県
鹿児島県立霧島高等学校 新留崇夫教諭

小学生向け『旅行プランゲームで健全な金銭感覚を養う』

— 第6回 — 講師：石村 衛 東京都金融広報アドバイザー

このコーナーでは、全国で活躍している金融広報アドバイザーによる誌上公開セミナーを行います。第6回の講師は東京都金融広報委員会で活躍中の石村衛さんです。今回ご紹介するのは、石村さんが小学生を対象に実践しているゲームを教材にしたセミナー『大切なお金で楽しい旅行プランづくり!』についてです。



ゲームで「働く・使う・残す」を実践

「お金の勉強」の基本である「収入・支出・資産・負債」について、経済活動の経験の少ない子どもたちが、実感として理解することは、容易ではありません。

私は「子どもたちの金銭感覚を養う」ことをテーマに、小中高生向けのセミナーやイベントを行っています。学年によって内容の難易度は変わりますが、どのセミナーにも共通する点は、ゲームを通じて、子どもたちに「収入・支出・資産・負債」を体験として学んでもらうことです。

今回は、毎年夏、東京都金融広報委員会が参加している子ども向けイベント『丸の内キッズジャンボリー』（主催：東京国際フォーラム）で、2014年に私が実践した『大切なお金で楽しい旅行プランづくり!』を紹介します。

子どもたちがみんなで話し合い、「行ってみたい旅行先を選んで計画を立て」、「旅行資金を積み立てるために働き」、「計画の見直しまでを行う」のが『旅行ゲーム』の概要です。プログラムは「計画にに応じて、必要なお金を意識し」、「働いてお金を稼ぎ」、「得たお金を

使って、行きたい旅行を具体化する」という3部構成の少し複雑な内容ですが、「楽しい旅行に行くために、頑張つて働こう」という一つの目標に向かってチームがまとまり、ゲームをクリアしていく様子を見ていると、子どもたちの潜在能力の高さを実感します。

旅行ゲームに挑戦してみよう

『旅行ゲーム』は6名で1チーム、1回に6チームで行われ、小学校3年生から6年生まで、学校も学年もバラバラの見知らぬ子どもたちがチームを作るところから始まります。

最初に行きたい旅行計画を立て、必要な資金を計算します。旅行先はアメリカ、ヨーロッパ、ハワイの3つですが、現地でのオプションルツアーを組み合わせることもできます（資料1）。

ゲームスタート時には、各チームに所持金（1単位は両）が配られていて各チームで管理します。旅行計画に足りない分は、仕事をして稼ぐことになります。

ここでの仕事とは、ゲームでお金（両）を稼ぐことです。今回は「紙コップピラミッド積み上げ」と「ハンバーガー店」の2種類を行いました。

資料1: 旅行プラン

旅行名	①旅行の値段	②パスポート代 旅行保険代	③旅行に行つてやりたいこと、見たいこと (追加で自由に選べる)
〈アメリカ旅行〉 (6日間)	8両	2両	1. ディズニーランド見学 1両 2. ニューヨークで大リーグ観戦 1両 3. グランドキャニオン大自然観光 2両 4. ケネディスペースセンター見学 1両 5. ハリウッド映画スタジオ見学 1両 6. ナイアガラの滝見学 1両
〈ヨーロッパ旅行〉 (6日間)	10両		1. 大自然! アルプス山脈ハイキング 2両 2. ムーミンのふるさとを訪ねる 1両 3. 世界最速フランス新幹線乗車 1両 4. パリのファッションショー見学 1両 5. ハリーポッターのロケ地見学 1両 6. 世界遺産モン・サン・ミッシェル見学 1両
〈ハワイ旅行〉 (5日間)	6両		1. くじら観察ツアー 1両 2. エステに行くよ〜 1両 3. ブランド品ショッピング 2両 4. ワイキキ水族館見学 1両 5. 巨大ウォーターパーク 1両 6. イルカとふれあい体験 1両

石村 衛 (いしむら まもる)

法学部法律学科を卒業後、食品メーカーに勤務。社会人になっても「社会とお金の繋がり」を知らない自分自身にショックを受けたことをきっかけに、フィナンシャルプランナー (FP) の資格を取得して独立。現在、FPとしての個人相談業務の傍ら、小中高生向けに「お金との付き合い方と金銭感覚を養う」をテーマとしたセミナーやイベントを開催し、好評を博している。2014年4月より東京都金融広報アドバイザー。著書に「お金ってなんだろう? 〜子どもに伝えたい大切なこと〜」(PHP研究所) など。

【金融広報アドバイザーとは】金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計の指導や金融・金銭教育などを行う金融広報活動の第一線指導者です。

資料2:旅行ゲームのワークシート

「紙コップ」は、制限時間内にピラミッドを積み上げるゲームです。1回目は個人で5段のピラミッドを、2回目はチームで大きなピラミッドを2つ作ることに挑戦します。個人、団体それぞれのピラミッドの完成度に応じて給料がもらえるため、みんなで力を合わせて目標を達成することで大いに盛り上がります。このあたりまでくると、見知らぬ子ども同士もすっかり打ち解け、仲間になっています。

「ハンバーガー店」は、高級店と普通店のどちらで営業するかをチームで選び、6人が1回ずつサイコロを振り、出た目が最も多かった数字によって給料が決まるゲームです。

高級ハンバーガー店の方がハイリスク・ハイリターンで、高い給料を得られるチャンスがある反面、その確率は低く設定されています。

4両〜12両に設定された給料の中からより多くを得るには、サイコロの「5」や「6」を複数回出す必要があります。一方、普通ハンバーガー店ほどの数字が出ても6両または8両と安定的な給料を得ることができるようになっています。

高学年になると、この仕組みに気づき、チームの中で「無理して高級ハンバーガーで勝負する必要はない!」や「いや、給料がゼロになるわけではないのだから、チャレンジしよう!」といった子ども同士の「作戦会議」も繰り広げられました。

2つのゲーム終了後、手にした給料を合計すると、今回は運良くすべてのチームが最初に計画した旅行に行けることになりました。ただ、もし給料の合計が最初に計画した旅行の費用に足りないときは、チー

ムで相談して計画を変更することになります。何を優先し、何をがまんするのかを考えさせるようにします。

大切なお金の使い方

子どもたちには、困ったことがあったときの相談役として1チームに1名の大人が付きましたが、「こうした方がよい」といったアドバイザーは一切言わずに見守っていました。

そんななかで、子どもたちは自然に仲間と力を合わせ、「目標を設定すること」、「労働により収入を得ること」、「お金を管理すること」、「収入に応じて予算を調整すること」、「上手な買物の仕方」といった多くのことを学びました。

セミナーの終盤には、進行役の私が「実際に働いてお金を得ることの大変さ、大切さ」と「余ったお金の使いみち」について簡単な解説を行い、最後のワークでは、今回の旅行計画で「残ったお金の使い方」を話し合っただけで決まっていた(資料2)。

食事、買物、貯金、寄付など、さまざまなお金の使いみちがあることを伝えましたが、話し合いの結果、「寄付」を選んだチームも少なくありません。ここ数年は震災の記憶がある子どもも多く、「困っている人を助けたい」というお金

の使い方を意識する子どもが多いように感じます。

子どもたちにとっては、ゲームだから「面白かった」という感想が大半ですが、その「遊びながら」が一番大事なのだと思います。自ら参加して、自分で工夫して、そこから何かを見つけてもらえるのはゲームならではの効果です。私は講師というよりは、場を盛り上げる進行ガイドとして、いかに子どもたちに、お金のゲームを楽しみ記憶として心に刻んでもらえるかに徹しています。そして将来の成長過程において、どこかで「あんなことしたな」と思い出してもらえような、お金を知り、考える「きっかけづくり」をすることが重要な使命だと感じています。

今回のまとめ

- ★お金は苦労して働いて稼ぐもの
- ★欲しいものを手にするには何が必要かを考えよう
- ★お金は無駄遣いせず、上手に役立つ使い方を学ぼう

古今東西、昔から伝えられているおとぎ話から現代の映画やマンガまで、お金や経済にまつわる物語は数え切れないほどたくさんあります。

今回は、中国から3世紀に伝わったといわれ、日本文化にも大きな影響を与えている「論語」を取り上げます。

第6回

「論語」

お金にまつわる孔子の教え

論語は、中国の春秋時代、紀元前6世紀から5世紀に生きた孔子とその教えを受けた弟子の言葉や問答を集めた中国の書物です。全20編で構成されており、道徳や礼儀、政治、学問や人としての生き方についてエピソードとともに記されています。『義を見てせざるは勇なきなり』など、現代の私たちにとても生き方の指針となる有名な言葉が数多くありますが、その中には、今も昔も人生とは切っても切れないお金に関する教えも少なくありません。

例えば、

『君子は義に喩り、小人は利に喩る』

という教えは、

「君子は正しい道かどうか、小人は損得で物事を判断する」

という意味ですが、会社の社長さんの座右の銘によく挙げられています。「儲けることばかりに懸命になり、誠実に商売することを疎かにしてはならない」といった、経営上の教えと解釈しているわけです。

また、

『疏食を飯い水を飲み、脰を曲げて是れを枕とす。樂しみ亦其の中に在り。不義にして富み且つ貴きは、我に於て浮雲の如とし』

これは、

「粗末な食事を食べて肘を枕に眠る、そんな生活の中にも喜びはある。不正に金を儲けて高い地位を得る、そんな生き方は浮雲のようにはかなく感じられる」

といった内容ですが、正しく志を持って生きれば、貧しくともハッピーであると喝破し

ています。

他方で、

『富と貴きとは、是れ人の欲するところなり。其の道を以てこれを得ざれば、処らざるなり』

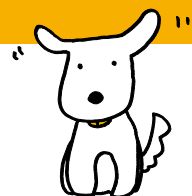
という言葉は、

「財産と高い身分は誰でも欲しがって当然である。しかし、人として正しい道を経た結果でなければ、何の価値があるというのか」

と、人が地位やお金を得ようとすること自体は当たり前なこととしてすんなり認めています。

人の世の現実を理解したうえで、正しく生きることを説く「論語」。それが、いつの時代も色あせず、私たち現代人の心にも響く理由なのでしょう。





読者のみなさまの声を紹介します。
ありがとうございます。

●家計簿が続かない私です。おおよっぱなやりくりで、今からでも遅くはない、楽しみながら習慣化したいこうと思いましたが。完璧さを求めすぎていたようです。
(北海道・ジャスミンさん)

●「ダマサレナイ!!」の中のエステの場面は身につまされる思いでした。ありがちで1度買わされそうになり大変でした。知識を持つことの大切さを学びました。
(北海道・バレーボールラブさん)

●宮城県石巻北高等学校さんの、農作物の栽培から加工、販売まで行う6次産業化を視野に入れ、様々な実績を積み重ね、地域の人々とのコミュニケーションを深めている、利に叶った、『とらまい』活動を、日本全国へ広めて欲しいと思いました。早期、完全復興を願っています。
(新潟県・大川早苗さん)

●なんとなくわかっていっていると思っていた「イノベーション」が、あらゆるベンチャーに好手段となっているんですね。「経済学者がくらしをあばく」エッセイがはじまりました。キーワードを毎号たのしみにしております。
(大分県・高柳和弘さん)

●結婚し、生活環境が大きく変わったので、家計管理・生活設計のツボを楽しみに読みました。もう少し図や写真(こんな家計簿があります、こんなふうに家計簿をつけます等)があればもっと良かったと思います。
(埼玉県・パオさん)

●山田五郎さんの「好きになれないはずがない」には感銘しました。私は63才ですが、これからの人生を送るに際し、改めて本気で向き合う大切さを感じさせてくれます。
(東京都・ヒロさん)

知るぽるとクイズ

以下のヒントをもとにヨコに言葉を入れていくと、タテの太棒にキーワードが完成します。本誌に登場した印象的な言葉ですが、さて何でしょうか？

ヒント

- A. 赤とんぼのことです
- B. 秋の魚の代名詞
- C. 資金や基金のことですが、運用資金の意味も
- D. 職探しならここへ相談
- E. カード利用で貯めてませんか？
- F. 軽く食べたいときに

A.	ア			カ	
B.		サ			
C.	フ				
D.					ワ
E.		ポ			
F.				イ	

※答えは次号掲載

●前号の答え

イノベーション

夏号より始まった松島斉先生の連載エッセイ、いかがでしたか。それぞれの時代における革新的な発想が、それまでにない新しい価値を創り、社会を大いに変え、私たち人間の歴史を動かしてきたことがよく分かりましたね。

おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。2015年10月31日までに「ご意見をくださった方の中から、抽選で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。また、おたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「知るぽると特製ボールペン***&メモ帳」をプレゼントいたします。

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※※使い終わった紙幣の裁断片が入っています。

●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけまたは場所
- ⑥知るぽるとクイズの答(左記参照)
- ⑦ご住所・お名前・年代・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

●宛先

郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1
日本銀行情報サービス局内
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛
メール : info@saveinfo.or.jp
FAX : 03-3510-1373
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

都道府県金融広報委員会一覧

委員会名	郵便番号	住所	電話番号
北海道金融広報委員会	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011 (241) 5314
青森県金融広報委員会	〒030-8570	青森市長島1-1-1	017 (734) 9209
岩手県金融広報委員会	〒020-0021	盛岡市中央通1-2-3	019 (624) 3622
宮城県金融広報委員会	〒980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022 (211) 2523
秋田県金融広報委員会	〒010-0921	秋田市大町2-3-35	018 (824) 7814
山形県金融広報委員会	〒990-8570	山形市松波2-8-1	023 (630) 3237
福島県金融広報委員会	〒960-8614	福島市本町6-24	024 (521) 6355
茨城県金融広報委員会	〒310-8639	水戸市南町2-5-5	029 (224) 2734
栃木県金融広報委員会	〒320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028 (623) 2151
群馬県金融広報委員会	〒371-8570	前橋市大手町1-1-1	027 (226) 2273
埼玉県金融広報委員会	〒333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1 街区2F	048 (261) 0995
千葉県金融広報委員会	〒260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043 (225) 7141
東京都金融広報委員会	〒103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1	03 (3277) 3788
神奈川県金融広報委員会	〒221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2	050 (7506) 1128
山梨県金融広報委員会	〒400-0032	甲府市中央1-11-31	055 (227) 2419
長野県金融広報委員会	〒380-0936	長野市岡田178-8	026 (227) 1296
新潟県金融広報委員会	〒951-8622	新潟市中央区寄居町344	025 (223) 8414
富山県金融広報委員会	〒930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076 (424) 4471
石川県金融広報委員会	〒920-8678	金沢市香林坊2-3-28	076 (223) 9519
福井県金融広報委員会	〒910-8532	福井市順化1-1-1	0776 (22) 4495
岐阜県金融広報委員会	〒500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 ふれあい福寿会館1棟5階	058 (213) 9257
静岡県金融広報委員会	〒420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054 (273) 4112
愛知県金融広報委員会	〒460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052 (954) 6603
三重県金融広報委員会	〒514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059 (246) 9002
滋賀県金融広報委員会	〒520-8577	大津市京町4-1-1	077 (528) 3411
京都府金融広報委員会	〒604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル 一之船入町535	075 (212) 5193
大阪府金融広報委員会	〒530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06 (6206) 7748
兵庫県金融広報委員会	〒650-0034	神戸市中央区京町81	078 (334) 1129
奈良県金融広報委員会	〒630-8213	奈良市登大路町10-1	0742 (27) 5454
和歌山県金融広報委員会	〒640-8319	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛8階	073 (426) 0298
鳥取県金融広報委員会	〒680-8570	鳥取市東町1-220	0857 (26) 7160
島根県金融広報委員会	〒690-8553	松江市母衣町55-3	0852 (32) 1509
岡山県金融広報委員会	〒700-8707	岡山市北区丸の内1-6-1	086 (227) 5128
広島県金融広報委員会	〒730-0011	広島市中区基町8-17	082 (227) 4268
山口県金融広報委員会	〒753-8501	山口市滝町1-1	083 (933) 2608
徳島県金融広報委員会	〒770-8570	徳島市万代町1-1	088 (621) 2258
香川県金融広報委員会	〒760-0023	高松市寿町2-1-6	087 (825) 1104
愛媛県金融広報委員会	〒790-0003	松山市三番町4-10-2	089 (933) 6308
高知県金融広報委員会	〒780-0870	高知市本町3-3-43	088 (822) 0114
福岡県金融広報委員会	〒810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092 (725) 5518
佐賀県金融広報委員会	〒840-0815	佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階	0952 (25) 7059
長崎県金融広報委員会	〒850-8645	長崎市炉粕町32	095 (820) 6112
熊本県金融広報委員会	〒862-8570	熊本市中央区水前寺6-18-1	096 (383) 2323
大分県金融広報委員会	〒870-0023	大分市長浜町2-13-20	097 (533) 9116
宮崎県金融広報委員会	〒880-0805	宮崎市橘通東4-3-5	0985 (23) 6241
鹿児島県金融広報委員会	〒890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099 (286) 2544
沖縄県金融広報委員会	〒900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098 (866) 2187

くらし塾 vol.34
さんゆう塾

平成27年10月発行

●編集・発行
金融広報中央委員会
●編集協力
廣告社株式会社

©金融広報中央委員会 禁無断転載

編集 後記

厳しい暑さも過ぎ、秋の足音が聞こえてきました。今号のインタビューでは、ロボット工学者の石黒浩さんに、今話題のアンドロイドの研究などについてうかがいました。最先端の技術で新しい世界を切り拓く発想力の源は「考え抜くこと」。学びの秋、じっくり思索するにはよい季節ですね。

* 本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。

* なお、既刊号全号をPDFファイル形式で「知るぽると」ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

<http://www.shiruporuto.jp/about/kurashijuku/>



とのしょう てしま
香川県 土庄町立豊島中学校

瀬戸内海東部、小豆島の西に浮かぶ、美しく豊かな自然あふれる豊島に、土庄町立豊島中学校があります。

全校生徒は7名。小規模校であることを生かし、一人ひとりの生徒の能力や個性を伸ばす学習指導や、地域に根ざした教育などにより「豊島を愛し、たくましく生きる力をもった生徒の育成」を目指しています。



勤労生産学習：田植え

2014・2015年度は、香川県金融広報委員会から「金融教育研究校」の委嘱を受け、「確かな金銭感覚を身に付け、主体的に行動しようとする生徒の育成」をテーマに、総合的な学習の時間においてさまざまな金融教育の授業を実践しています。

1年生はフェリーで高松市まで出向き、菓子工房や鉄道会社などで職場見学・インタビューを行い、2年生は土庄町内のスーパーや保育所などで職場体験学習を行い、働くことの意義を学んでいます。また、勤労生産学習では、実習田を借りて米作りを行い、農作業の苦労や収穫の喜びを体験し、食に対する感謝の心を育むとともに、生産者からは、作業指導だけでなく米の販売・流通に関する話も伺っています。

このほかにも、特別活動として、校内文化祭のエコバザーでは、バザー品の値札付け、展示、販売までを生徒が全て行い、収益金の使い道も生徒で相談し、福祉施設に寄付などを行っています。

金融教育の視点を加えた研究校としての学習活動を通して、生徒はこれまで以上に主体的に行動するようになり、自分と社会との関わりを意識し、将来について考えるようになりました。2016年度には小中併設校となるため校舎を移転しますが、これからも地域とともに育つ学校づくりを目指していきます。



豊島中学校



豊島中ソーラン

サッカーも、貯金も、 ゴールが大事！



知るぽると 金融広報中央委員会 (事務局：日本銀行情報サービス局内)

金融広報中央委員会って？

おかねについての情報を、もっとくらしに役立ててほしい。

そのために必要な情報をわかりやすく届けたい。

そんな思いで活動しているのが、「知るぽると」の金融広報中央委員会。

日本銀行の中に事務局のある、中立・公正な団体です。

「知るぽると」は金融広報中央委員会の愛称です。

くらしに役立つ身近な知恵・知識の「港：Porto」「入り口」です。

知るぽると ホームページ

<http://www.shiruporuto.jp/>

